

グリーンフラッグ 2017 5月

～緑の季節がやってきて～

<春みつけ！>

5月2日(水)、冒険隊結成後、初の活動「春みつけ」が6年生のリーダーを中心に行われました。昨年の反省を踏まえて今年は、場所を変えずに、校庭(相川の森・中庭・裏庭)とほほえみ広場の方面に分かれて観察することにしました。そうすることでじっくりと春みつけができ、秋との比較もしやすくなるからです。

初めて「春みつけ」に参加する1年生が高学年のお兄さん、お姉さんに手を引かれて出発していきました。春ならではの光景かもしれません。

テントウムシ、バッタ、カナヘビ、シロツメクサ、アカツメクサ・・・オオキンケイギクの株を見つけて、「先生もう咲きそうだよ」と抜いて持ってくる子ども達もいました。教室に帰って、画用紙にまとめ発表しました。昨年の経験もあって、写真と発見したものを書いた付箋を上手に貼ってまとめていました。各班の発表では、経験のない1年生には、号令を分担したり、言うことを紙に書いて教えたりするなどして、全学年参加の活動となりました。



<オオキンケイギク駆除>



5月13日(土)の「愛校クリーンデー」(PTA主催)があいにくの雨で中止となり、その際に行われるはずだった「オオキンケイギク駆除」も中止になりました。しかし、それでは、オオキンケイギクの猛威を食い止めることはできません。「春みつけ」の時にも子ども達が気が付いて、「外来種を駆除しないと」という課題が上げられていました。そこで、5月23日(火)、1・2校時の体力測定の後でしたが、3校時を6年生、4校時を5年生、5校時を3年生、6校時を4年生で分担して駆除を行いました。

「水辺の楽校ほほえみの会」のみなさんや、各学年の保護者の皆さんも参加をしていただき、今年度は、70リットルの袋で37袋分もの駆除ができました。昨年集中して駆除した場所はその数を減らしています。年々地域の方の参加も広がっています。毎年続けることで少しずつ成果が表れています。「オオキンケイギク駆除」を通して人の輪も広がっていければと思います。



カワラノギクの苗が・・・でも1年生は活動開始!



今年度は、カワラノギクの苗が育ちませんでした。黒いポットがたくさん並んでいるのがとても寂しいです。そこで今年度は、地域の方に苗をいただくことにしました。さっそく1年生は、石を拾って「カワラノギクのすみか」を作り始めました。この後2年生が草むしりをして、3年生が耕して1～3年生で苗を植えます。今年こそはたくさんの花を咲かせて欲しいです。